

共和中学校 校舎の歴史 1



昭和31年 旧校舎
「伏見原蚕種飼育所」の建物を使用



昭和33年 旧校舎
当時としては貴重な航空写真



昭和41年 旧校舎
この頃FBCコンクール優良賞受賞



昭和44年 旧校舎
校門は現在と同じ門柱



昭和51年 旧校舎



昭和54年 旧校舎最後
この頃プレハブ3教室使用

共和中学校 校舎の歴史 2



昭和55年 新校舎
8月17日新校舎竣工式



昭和60年 新校舎
校舎南が駐車場として整備される



平成2年 新校舎とプール
この頃生徒会クリーン活動が盛ん



平成4年 新校舎
西側はバレーコート（現在は体育館）



平成6年 新校舎と新体育館
新体育館は9月竣工

昭和23年9月1日伏見中学校と兼山中学校が統合して、「伏見・兼山中学校組合立共和中学校」として開校する。当時は、東濃高等学校農業科（現東濃実業高等学校）の校舎の一部を借りていた。昭和26年7月「伏見原蚕種飼育所」（現在の校舎のある位置）の払い下げを受け、移転する。校名の「共和」は、二人以上の人々が心を合わせ仲良くするという意味がある。開校当時から県指定や文部省の指定を受け研究発表を何度も行っている。平成20年は開校60周年となる。